

令和4年5月21日

第64回北大祭における飲食提供縮小案

北海道大学大学祭全学実行委員会
実行委員長 川島大和

目次

1. はじめに	2
1.1. 資料作成目的	2
2. 第64回北大祭における模擬店数	2
2.1. 模擬店数の制限	2
3. イートインスペース	3
3.1. 概要説明	3
3.2. 休憩所との違い	3
3.3. 設置場所	3
3.4. 設置数および座席数	3
3.5. 座席システム	6
3.6. パーテーションの設置	6
3.7. 管理スタッフ	6
3.8. 黙食の徹底	7
3.9. 利用時間	7
4. デリバリーシステム	8
4.1. 概要説明	8
4.2. 運用方法	8
4.2.1. 来場者側の動き	8
4.2.2. 模擬店側の動き	8
5. 大学内外への広報	9
5.1. 参加団体への周知	9
5.2. 来場者への周知	9
6. 本件に関する連絡先	9

1. はじめに

1.1. 資料作成目的

北海道大学大学祭全学実行委員会（以下、当実行委員会）は、第 64 回北大祭において飲食提供を実施しますが、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の感染拡大の影響から、例年と同じ規模や形態での実施は難しいため、飲食提供縮小案を作成しました。

2. 第 64 回北大祭における模擬店数

2.1. 模擬店数の制限

第 64 回北大祭においては、コロナの感染拡大を受け、飲食提供を行う模擬店数を例年より制限します。

【説明】

後述のイートインスペース設置場所の確保と来場者の密集防止のため、第 64 回北大祭においては、飲食提供を行う模擬店数を例年の約半数に制限します。

【詳細】

各祭の例年の模擬店数（データは 2019 年開催の第 61 回北大祭のもの）と第 64 回北大祭における模擬店数を記載します。（記載のない各祭では、飲食提供は実施しません。）

各祭名	例年の模擬店数	今年の模擬店数
榆陵祭	約 200 店舗	86 店舗
獣医学祭	1 店舗	1 店舗
薬学祭	1 店舗	1 店舗
農学祭	13 店舗	6 店舗
工学祭	0 店舗	6 店舗（新規）
歯学祭	0 店舗	3 店舗（新規）
医学展	1 店舗	0 店舗
IFF（※1）	30 店舗	13 店舗

※1. IFF は International Food Festival の略称

3. イートインスペース

3.1. 概要説明

第64回北大祭では、コロナの感染拡大を防ぐため、来場者の食べ歩きを禁止します。そのため、来場者が模擬店で購入した商品を飲食する場所として、イートインスペースを設置します。

3.2. 休憩所との違い

- イートインスペース：模擬店で購入した商品を飲食する場所
- 休憩所：来場者が座席に座るなど休憩する場所。食事は行わない。

屋内および屋外休憩所のわかりやすい場所に休憩所での食事を禁止する旨の掲示をします。また、1休憩所あたり少なくとも1名の北大祭スタッフを配置し、休憩所で食事を行っている来場者がいないかどうか監視します。

【補足】

第64回北大祭において設置予定の休憩所を以下に記載します。

<屋内休憩所>

- 高等教育推進機構内の一室
- 獣医学部棟の一室

<屋外休憩所>

- 体育館横
- 高等教育推進機構前
- 保健センター南スペース
- 人文・社会科学総合教育研究棟前

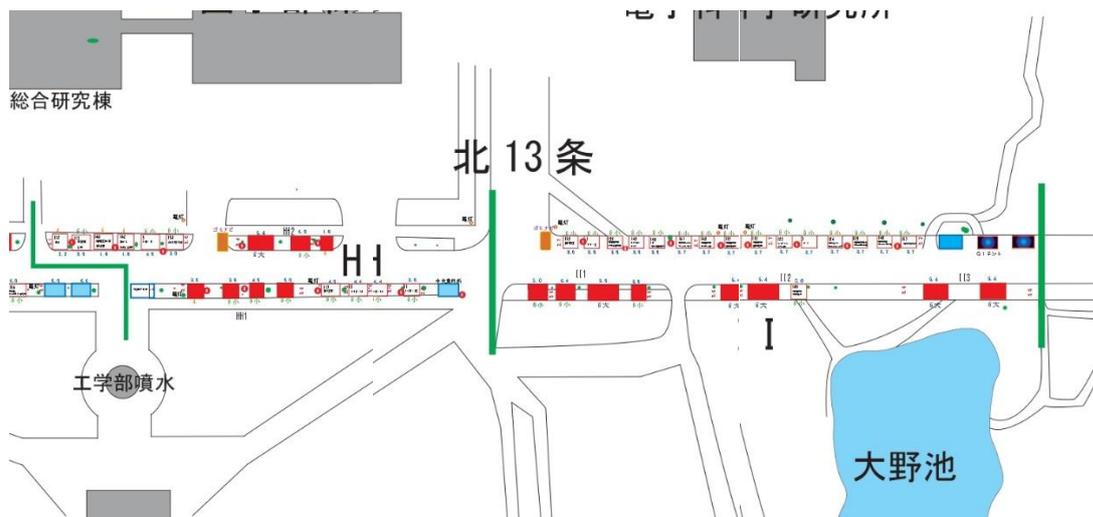
3.3. 設置場所

イートインスペースは模擬店付近に設置します。

【説明】

北大祭スタッフによるイートインスペースの管理や消火器の適切な配置、また来場者の円滑なイートインスペースの利用のため、原則として、イートインスペースは模擬店付近に設置します。

中央道路（以下、メインストリート）の場合、イートインスペースは模擬店の間ではなく、模擬店の対面側に設置します。一例として、榆陵祭のイートインスペースの設置場所を記載します。



3.4. 設置数および座席数

イートインスペースの総座席数は1,028席です。

【説明】

原則、イートインスペースは模擬店と1対1対応での設置を予定しています。

榎陵祭では、模擬店約10企画あたり1ブロックと定義し、1ブロックごとにイートインスペースを設置します。

他の各祭については、榎陵祭よりも飲食提供を行う模擬店数が少ないため、1つの各祭の模擬店あたり1ブロックのイートインスペースを設置します。

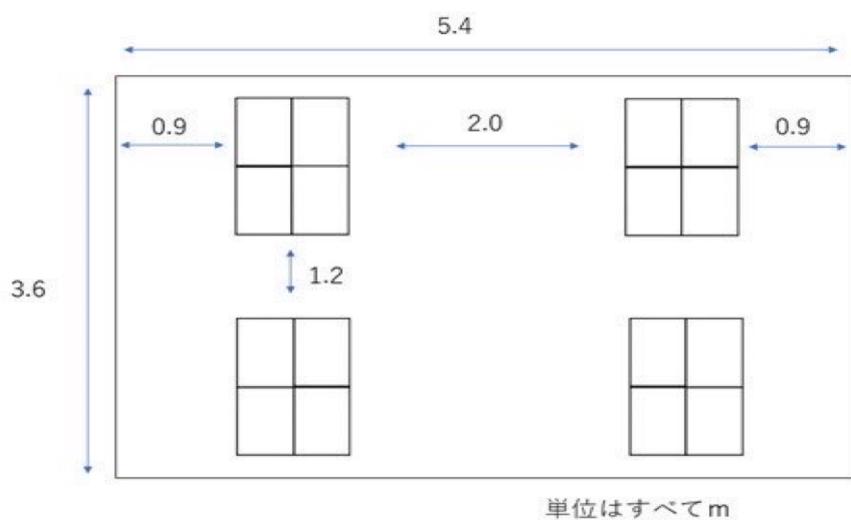
【詳細】

イートインスペース用テントは

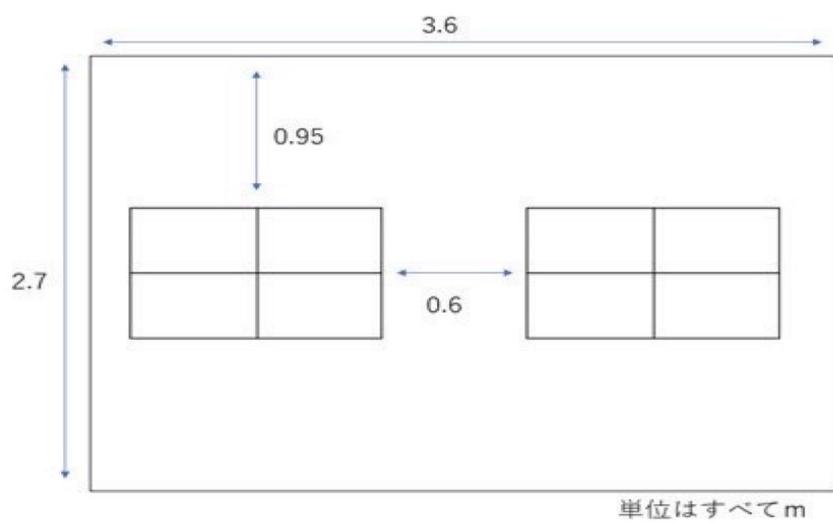
- 大：3.6m×5.4m（16席）
- 中：2.7m×3.6m（8席）
- 小：4支柱（4席）

の3種類を想定しています。

- テント大



- 中テント



区画	イートインスペース収容人数			座席数
	テント大	テント中	テント小	
榆陵祭 A	8	0	0	128
榆陵祭 B	2	1	3	52
榆陵祭 C	2	5	0	72
榆陵祭 D	5	3	0	104
榆陵祭 E	1	8	0	80
榆陵祭 F	4	3	0	88
榆陵祭 G	4	0	0	64
榆陵祭 H	1	4	2	56
榆陵祭 I	4	3	0	88
IFF	0	13	0	104
工学祭	0	11	0	88
農学祭	0	7	0	56
獣医学祭	1	0	0	16
薬学祭	0	1	0	8
歯学祭	1	1	0	24
総計	33	60	5	1,028

<補足>

- 榆陵祭 A 区画：高等教育推進機構前駐車場
- 榆陵祭 B 区画：北 18 条門～体育館前
- 榆陵祭 C 区画：体育館前～情報教育館前
- 榆陵祭 D 区画：情報教育館前～北図書館前
- 榆陵祭 E 区画：学生交流ステーション前
- 榆陵祭 F 区画：学生交流ステーション前～工学部前
- 榆陵祭 G 区画：工学部噴水北側前
- 榆陵祭 H 区画：工学部噴水南側前
- 榆陵祭 I 区画：北 13 条交差点～大野池前
- I F F 区画：総合博物館前
- 農学祭区画：総合博物館南前～古河記念講堂前

3.5. 座席システム

イートインスペースは完全ブロック制です。また、全席自由席とします。

【説明】

イートインスペースはブロック毎に分かれています。（3.3の表を参照）イートインスペースは同一ブロック内の模擬店のみで使用可能であり、ブロックを横断することはできません。（例：榎陵祭 Cブロックの模擬店を利用するときは、Cブロックのイートインスペースのみが使用できます。）

また、イートインスペースは全席自由席となっております。イートインスペースを利用する際は、事前に座席を取った後に模擬店を利用するようにしてください。

3.6. パーテーションの設置

イートインスペースにはパーテーションを必ず設置し、座席を1席ずつ区切れるようにします。

【説明】

来場者の飛沫が飛ぶことを防止するため、イートインスペースにはパーテーションを設置し、座席を1席ずつ区切ります。パーテーションの大きさは縦35×横60×高さ60を予定しています。（単位は全てcm、北海道大学内の生協食堂のものと同様）

なお、原則、イートインスペースは模擬店と1対1対応で設置するため、パーテーションの準備負担は参加団体が負うものとします。

3.7. 管理スタッフ

イートインスペースを管理するスタッフを1ブロックあたり少なくとも2名配置します。

【説明】

管理スタッフは参加団体および各祭実行員会構成員が担当します。管理スタッフの業務はイートインスペース利用者の監視、問題発生時の対応、イートインスペースの清掃や消毒です。これらの内容は、当実行委員会が作成する「管理スタッフマニュアル」で周知徹底します。

3.8. 黙食の徹底

第 64 回北大祭では、来場者の方に黙食の実施をお願いします。

【説明】

コロナ感染のリスクを下げるため、黙食の実施を来場者へ呼びかけます。イートインスペース内で大声を出すなどの行為に対しては、管理スタッフが注意を行います。

また、イートインスペースのパーテーションには黙食を実施するビラや張り紙を設置するほか、模擬店スタッフからも受付の際に来場者へ黙食の実施を呼びかけます。

3.9. 利用時間

原則、1 回あたりのイートインスペース利用時間は 15 分とします。

【説明】

イートインスペースの円滑な利用および黙食の徹底のため、1 回あたりの利用時間を原則 15 分までとします。15 分以上利用している方には管理スタッフから退席をお願いする場合があります。

4. デリバリーシステム

4.1. 概要説明

第64回北大祭では、来場者の食べ歩きを確実に防止し、イートインスペース以外で飲食を行う人が発生する可能性をなくすため、模擬店スタッフがイートインスペースに商品を持っていくシステム（以下、デリバリーシステム）を導入します。

4.2. 運用方法

4.2.1. 来場者側の動き

- ① イートインスペースの座席をとる。
- ② 同じブロック内の模擬店に行く。
- ③ 会計の際、模擬店スタッフから番号札を受け取る。
- ④ イートインスペースに戻る。
- ⑤ イートインスペースで商品を模擬店スタッフから受け取る。
- ⑥ 商品受け取り時、模擬店スタッフに番号札を返却する。

4.2.2. 模擬店側の動き

- ① 来場者のリストバンド（※2）を確認し、参加可能時間内であるか確認をする。
- ② 会計の際、来場者に番号札を渡す。
- ③ 来場者に同ブロック内のイートインスペースで着席し、商品到着を待つよう伝える。また、黙食の実施を呼びかける。
- ④ 来場者のもとへ商品を持っていく。
- ⑤ 商品受け渡し時、来場者から番号札を回収する。
- ⑥ 模擬店に戻り、回収した番号札を消毒する。（※3）

※2. リストバンドについては、別途資料「第64回北大祭における来場者制限案」を参照してください。

※3. 必ず毎回消毒してください。

5. 大学内外への広報

5.1. 参加団体への周知

参加団体に対しては、当実行委員会から各祭実行委員会を通して情報を提供し、また、説明会などにより当実行委員会の定める方針を遵守するように周知します。

5.2. 来場者への周知

第 64 回北大祭公式 Web サイトや公式 SNS にて広報するとともに、北大祭パンフレットに挟み込む別紙や立て看板などにイートインスペースやデリバリーシステムの情報を記載します。

また、来場者が当資料の内容を簡単に確認できるよう、当資料の内容をまとめた PDF ファイルを作成し、第 64 回北大祭公式 Web サイトに掲載します。

6. 本件に関する連絡先

北海道大学大学祭全学実行委員会

実行委員長 川島大和

Mail : huf@hokudaisai.com